大阪市立

# 新巽中学校

| | |
|---|---|
| 校長名 | 戎　治 |
| 所在地 | 〒544−0015 大阪市生野区巽南4−2−53 |
| 電話番号 | 06−6793−7415 |
| FAX番号 | 06−6793−4178 |
| HPアドレス | https://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j672488 |

QRコード

## 教育目標

『自己を磨き続け、他者と関わり、共に持続可能な社会を探究する人』を育成する

## 重点目標

①豊かな心と健康な体の育成
②主体的・対話的で深い学びの創造
③安全で安心な学校生活

### 標準服

A

B

※男女ともに『A』・『B』選択可

## 令和5年度全国学力・学習状況調査

### 平均正答率（%）

| 国語 | 数学 | 英語 |
|---|---|---|
| 63 | 44 | 39 |

### 結果概要

【国語】記号を選択する問題の無回答率はほぼ0%だが、文章を書く問題になると平均25%と大変高い。その中でも古典に関する記述の問題の無回答率は30%と一番高くなっている。「話すこと・聞くこと」に関する問題は、全国と比較して6～8%高く、比較的よく正しい答えを導き出せている。語彙を選択する問題も92．3%と、高い正答率である。

【数学】全国と比較するとすべての領域で正答率が下回っているが、特に「関数」の領域において全国平均より12%下回った。正答数集計値では、全体の4分の1が正答数3問以下である一方（全国の第一四分位数は4問）、正答数が13問以上の割合は全国を上回っている。正答率が低い生徒の底上げが、今後の課題である。

【英語】リスニング問題や記号を選択する問題の無回答率は低いが、長文読解問題になると無回答率がぐんと高くなっている。全体的にみると、「書くこと」に関する問題は全国平均と比較しても17%も低い。一方で、「話すこと・聞くこと」に関する問題は、全国平均との差は3．7%と下回ってはいるが比較的よくできている。

【英語（話すこと）】無回答率が非常に高く、質問をする問題では20%を上回っている。正答率も低く、正確な英語で答えられている生徒も10%以下と少ない。

### 自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

学習面においては、全教員で全校生徒を見守ることを念頭に置き、TT、習熟度別クラス分割授業等で全校生徒を見守る仕組みを作っている。また、「わかる喜び、できる楽しさを実感できる授業」をめざし、ICT機器を活用した授業の工夫・改善に取り組んでいる。全国学力・学習状況調査においては、少しずつではあるが全国平均に近づいてきている。また大阪府チャレンジテストにおいては、ここ数年間、学年が上がるにつれて対府比の数値が上がるという傾向があり、単元テスト（Bテスト）の効果が表れてきている。

## 令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査

### 種目別平均値

| 性別 | 握力（kg） | 上体起こし（回） | 長座体前屈（cm） | 反復横跳び（回） | 20mシャトルラン（回） | 50m走（秒） | 立ち幅とび（cm） | ハンドボール投げ（m） | 合計得点 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 男子 | 28.81 | 21.76 | 42.79 | 46.95 | 72.84 | 8.41 | 188.08 | 19.83 | 36.53 |
| 女子 | 21.78 | 19.32 | 42.96 | 43.52 | 47.92 | 9.63 | 168.92 | 10.08 | 41.63 |

### 結果概要

『握力』は全国と比較して、男子は0.21kg、女子は1.37kg低い結果であった。『上体起こし』は全国と比較して、男子は4.06回、女子は2.3回低い結果であった。『長座体前屈』は全国と比較して、男子は1.37cm、女子は3.31cm低い結果であった。『反復横とび』は全国と比較して、男子は4.27点、女子は2.13点低い結果であった。『20mシャトルラン』は全国と比較して、男子は5.23回、女子は2.13回低い結果であった。『50m走』は全国と比較して、男子は0.39秒、女子は0.68秒遅い結果であった。『立ち幅とび』は全国と比較して、男子は8.92cm低く、女子は2.58cm高い結果であった。

『ハンドボール投げ』は全国と比較して、男子は0.57m、女子は1.63m低い結果であった。『反復横跳び』、『20mシャトルラン』、『立ち幅跳び』に関して、全国平均との差が大きく、「敏捷性」・「全身持久力」・「瞬発力」の強化・向上が課題である。

### 自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

今年度の体育の授業において、準備運動時の補強運動や種目の中に、課題である「敏捷性」・「全身持久力」・「瞬発力」の向上が見込まれる運動を継続的に取り入れていく。

## 卒業後の進路

### 過去3年間の卒業者数

令和5年度　84　　令和4年度　91　　令和3年度　101

【大阪府下の府立高校】東住吉総合（12）、大阪わかば（勝山・桃谷）（8）、夕陽丘（6）、大阪府教育センター附属（5）、八尾（5）、生野（4）、阪南（4）、港（4）、八尾北（4）、阿倍野（3）、大塚（3）、布施（3）、清水谷（2）、住吉（2）、花園（2）、布施北（2）、布施工科（2）、守口東（2）、今宮工科、高津、港南造形、成城、天王寺、東住吉、松原、桃谷（通信制・定時制夜間）、八尾翠翔、山本、東住吉（共生推進教室）、たまがわ高等支援

【大阪府下の旧大阪市立高校（現在は府立高校）】汎愛（6）、大阪ビジネスフロンティア（3）、都島工業（2）、生野工業、泉尾工業、工芸、桜宮、住吉商業

【大阪府下の私立高校】阪南大学（10）、大阪学芸（9）、興國（8）、あべの翔学（6）、大阪商業大学（6）、桃山学院（6）、上宮（5）、金光藤蔭（5）、大阪夕陽丘学園（4）、昇陽（4）、浪速（4）、大阪学院大学（3）、大阪産業大学附属（3）、明浄学院（3）、ルネサンス大阪（3）、英風（2）、追手門学院（2）、大阪偕星学園（2）、樟蔭（2）、常翔学園（2）、清風（2）、プール学院（2）、大阪暁光、大阪女学院、大阪つくば開成、大阪電気通信大学、大阪緑涼、香ヶ丘リベルテ、近畿大学附属、金蘭会、四天王寺、城南学園、太成学院大学、長尾谷、初芝立命館、東大阪大学敬愛

【その他（他府県等）の高校】屋久島おおぞら（3）、大阪府立桜和（3）、東大阪市立日新（2）、東朋高等専修学校（2）、高川学園、生光学園、天理（Ⅰ部）、札幌山の手、東北生活文化大学、尾道、松山聖陵、大阪国際、西大和学園、飛鳥未来



## 校長先生のメッセージ

新巽中学校は、生野区の東南に位置し、今年度入学してきた生徒が 50 期生になります。運動場が広く、野球部、ラグビー部、サッカー部、ソフトテニス部が同時に活動できます。一人ひとりの能力を伸ばすことを目的に全教職員が力を集結し取り組んでいます。
新巽中学校は、今後とも、生徒・教職員がともに生き生きと活動できる教育の場を目指すとともに、保護者・地域の皆様から信頼と満足を得られるよう、努力を積み重ねてまいります。

## 運営に関する計画

### 計画のエッセンス

①生徒が安全で安心できる学校生活を営むことができるよう、いじめ等に関する相談機能の充実や保健衛生面における指導の徹底を図る。
②豊かな心や社会に貢献する態度等を身に着けるため、通常の学習をはじめ、さまざまな教育活動において生徒が主体的かつ協働的に取り組む姿勢を大切にする。

### 中期目標、年度目標等

【安全・安心な教育の推進】
①令和4年度～令和7年度の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を毎年100%にする。(R5 100% 8/8)
②令和4年度～令和7年度の校内調査において、「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を95%以上にする。(R5 83%)
③令和4年度～令和7年度の校内調査において、「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を80%以上にする。(R5 63%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】
①令和7年度の中学校チャレンジテスト(3年生)において、大阪府平均点を上回る。(R5 国語 -3.6　社会 -5.2　数学 -1.4　理科 -3.3　英語　-4.2)
②令和7年度の中学校チャレンジテスト(3年生)において、府平均の7割に満たない生徒の割合を15%以下に減少させる。(R5　27.1%)
③令和7年度の中学校チャレンジテストにおいて、府平均の2割以上上回る生徒を1年19%、2年25%、3年28%以上に増加させる。(R5　1年12%、2年33%、3年19%)
④令和7年度の校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して「している（どちらかといえばしている)」と答える生徒の割合を8割に増加させる。(R5 69%)
⑤令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、体力合計点を令和3年度校内平均(男子39.76 女子44.08)より2ポイント向上させる。(R5 男子36.53 女子41.63)
⑥令和7年度における校内アンケートで「授業が分かりやすい」と答える生徒の割合を70%以上にする。(R5　52%)
⑦令和7年度における校内アンケートで「授業内容・方法を工夫している」と答える生徒の割合を80%以上にする。(R5　71%)

【学びを支える教育環境の充実】
①授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕
②「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を70%以上にする。(R539.29%)
③令和4年度～令和7年度の校内調査における「学校の図書館をよく利用している」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を前年度より向上させる。(R5 36%)

## 「特色ある学習活動」　および　「家庭・地域等との連携」

### 特色ある学習活動

#### しんたつチームビルディング～アドベンチャープログラム～

しんたつチームビルディングとして、関西大学堺キャンパスの「アドベンチャープログラム」に取り組んでいます。「アドベンチャープログラム」はチームビルディング、コミュニティー作りを目的としたもので、チームで様々な課題を協力してクリアしていくものです。ハイエレメントやローエレメントがあり、ハイエレメントでは、ボルダリングを使ったプログラムや、命綱を使ったプログラムでハーネスやロープの管理から安全管理や危機管理についても学び、文字通り「パートナーの命綱を握る」貴重な体験でもありました。施設の頂上からはあべのハルカスも望める絶景だったそうです。体験学習法を用いたグループワークを通して参加者それぞれが学びを深め、チームビルディングとして、「学級づくり」、「他者への関わり」等、多くの目的に適用可能であり、シンプルな理念と簡単なアクティビティで構成されたポータブルな技法です。互いが尊重し合うことができる関係性を基盤として個人の自己変容を支え合うにはどうすればよいのか、正解のない問いについて一緒に考えていくことができればと願っています。

### 地域等との連携

#### キャリア教育～職業講話～

毎年2年生で、地域の事業所の方の受け入れのもと、職場体験学習を行っています。職場体験学習の導入として、講師に株式会社リゲッタ代表取締役の高本やすお様に来ていただき、講話をしていただいています。「ものづくりの街」である生野区の歴史や「ものづくりをする人」の想いを生の声で聴かせていただき、実際に商品に触れ、楽しみながら学習をしています。また、「働くってなんだろう?」という事や、「どんな仕事にも共通していることは?」など、いくつかの質問を通して生徒それぞれが考えたり、グループで話し合ったりしながら、働くことについて考えを深めています。今年度は、グループごとに仕事についての「マイナスイメージ」と「プラスイメージ」、「仕事をすることの意味」を書き出しました。そして、「仕事って何だろう?」という思いを一人1枚の紙に書きだしました。

#### 防災教育～避難訓練～

年2回の避難訓練では、生野消防署と連携し、地震からの火災を想定した訓練を行っている。また、地震から津波を想定した避難訓練では、生野区役所防災担当の方に来ていただき、避難訓練を行っている。避難後、学校長と生野区役所の防災担当の方から自然災害に備えておくことの重要さ、災害時に中学生に求められることについてお話をいただいた。また、学校外で災害にあった時に避難ができるように地域ごとに集合し、一時避難場所や一緒に避難するメンバーの確認を行った。自然災害はいつ起こるかわからないもので、災害時において、中学生の役割は大きいものなので、自分の身を第一に守りながら、災害時に中学生としてできる活動を身につけていきたい。